

失語症支援カードをお届けします ぜひご活用下さい

私たち失語症会話パートナー養成「あんど」は、2004年より福岡県で失語症の方の支援を行っています。言語聴覚士有志で失語症会話パートナー（専門ボランティア）を養成し、ともにボランティア活動を行ってまいりました。そして、失語症の方やご家族のご苦労やお気持ちを伺いながら、周囲の方とつながることの大切さを実感して参りました。

このほど、うぐいす基金（福岡県失語症友の会）より助成を頂き、「失語症支援カード」と「失語症支援リーフレット」を作成しました。

失語症の方々が、今いる場所でより豊かなコミュニケーションを得て欲しい、やりとりの場を保ち広げて欲しい、という願いを込め、失語症の方から「このようなやりとりをして欲しい」と伝える表現にしています。
（東京のNPO法人和音のカードも許可を得て参考にさせていただきました）

①失語症支援カード（2つ折りキャッシュカードサイズ）は、お財布やカードケースで携帯し、外出時、困った時、自己紹介の時に相手に見せましょう。

お名前・連絡先などの記入欄は必要に応じて書き入れて下さい。

②失語症支援リーフレット（この裏面のカラー印刷）は、大きめの印刷です。

目に付く場所に貼る、渡すなどで、周りの方に促してみてください。

ご家族や支援者の皆様へ

まずは、普段の自分よりもずっと「ゆっくり・ゆったりしたやりとり」をお願いします。

ゆっくり話しかけ、失語症の方をよく見て、聴いて下さい。

ことばも大切ですが、視線や表情、態度、身振りなども受け取りましょう。

どのような声のかけ方や接し方が、失語症の方のことばや理解、伝えたいお気持ちを引き出すか、根気よく試み続けて下さい。

あなたは、失語症の方の大切なお話し相手です。気持ちが通い合う瞬間を少しずつ積み重ね、伝わった・わかったという笑顔をお互いに増やしていきましょう。

どうぞ宜しくお願いします。

2013年9月

失語症会話パートナー養成「あんど」



わかると嬉しい 伝わるとほっとする

向き合う・寄り添う・つながる
コミュニケーションを